

今月の一言

キーワード：無形の資産

不二家は、1910年（明治43年）に藤井林右衛門が横浜・元町に洋菓子店を開いた創業97年の老舗企業。ずさんな品質管理が発覚し、全面的な生産停止に追い込まれていた不二家が3月1日、チョコレートなど菓子の生産を再開した。しかし小売店の多くは販売再開に慎重な姿勢を見せるなど状況は厳しい。100年近くにわたって積み重ねてきた信用を一挙に崩壊させた今回の事態。歴史、伝統という無形の資産を背景としてきた老舗だけに負った傷は深い。老舗は「永い年月の間に、技術革新の大波やいくつもの社会変革、生活様式の変化、嗜好や気分の移り変わりがあった。にもかかわらず、今なおあり続ける。だからこそ『老舗の底力』長年存続し続けてきたこと自体が老舗を支えるパワーというのだ。

今回の問題で不二家はその信頼感、安心感を一挙に失ってしまった。「長く続けてきた会社でも何をしているか分からない」。消費者がそう考えるとしたら、長年存続し続けてきたことの意味や価値は失われる。

9月21日に富山市総曲輪に“総曲輪フェリオ”がオープンしました。富山県内での目玉の物件を当社は、清水建設(株)様より内装仕上げ工事を受注し富山建築部：藤重さんの担当で協力業者と一体となり素晴らしい施工を行い、清水建設(株)様から「大変満足している」とのお話を聞き嬉しく思っています。

確かな技術で高い品質をいつまでも提供していきましょう！

2007年9月25日

さいのう とおる

追伸：目玉の“総曲輪フェリオ”に遊びに行ってください！